

ハンズオン用の 月単位時系列データの準備について

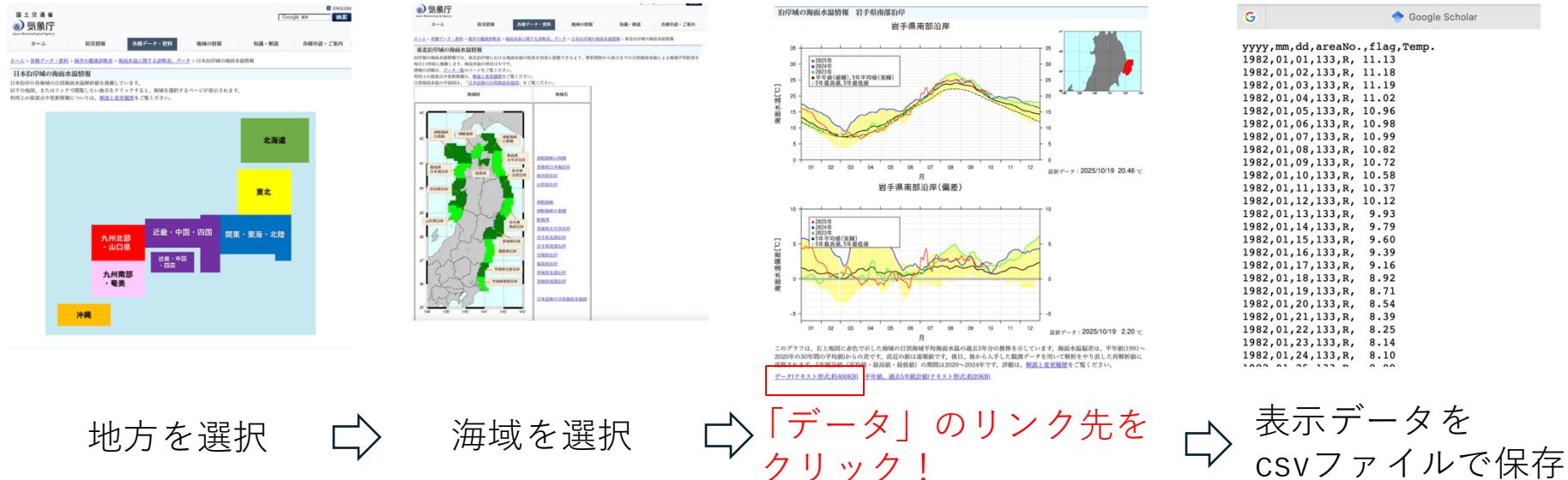
- 1) 気象庁の海面水温の公開データを使用
(研修の実例で使用 : 詳細はスライド 2 枚目)

- 2) 自前の海面水温などのデータを使用
(詳細はスライド 3 枚目)

1) 気象庁の海面水温の公開データ*を使用

- 配布プログラムに含まれる岩手県南部沿岸データを使用
(研修の実例のデフォルト設定: 事前の入手不要)
- 気象庁のサイトから興味のある海域のデータ入手して
使用することも可 (講義内で入手方法を説明: 要ネット接続)

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/series/engan/engan.html>



* 公開データは日別平均ですが、ハンズオンではRで月別に集計して扱います。

2) 自前の海面水温データなど*を使用

- 月単位の時系列観測値データを次の形式のcsvファイルで準備

Time, Temp
1982-01-01, 9.75
1982-02-01, 7.47
1982-03-01, 7.24
1982-04-01, 8.27
1982-05-01, 11.3
1982-06-01, 16.5
...

Time: 年月

- YYYY-MM-01 として入力

Temp: 海面水温などの観測値

- 海底水温なども可

- 推奨する時系列データの長さ

- 簡易解析（簡単な可視化・季節分解）：5年（ \approx 60観測）以上
- 長期トレンド推定など：20—30年（240—360観測）以上

*ハンズオン演習内の高度なモデルには対応できない可能性があることをご承知ください。